

はじめに

最近、電車に乗ると、社会保険労務士関係の受験参考書を開いて勉強しているビジネスマン・OLの方をよく見かけます。

社会保険労務士を志していた頃の自分を見る懐かしさと、ここ数年の不景気に伴う資格ブームでの社会保険労務士資格の人気上昇を実感します。

この業界に身をおく者としてはうれしくもありますが、一方で、間違った情報が氾濫していることも感じます。

現在、ほとんどの資格学校では、「社会保険労務士試験は難関だ」「社会保険労務士試験は膨大な暗記が必要だ」ということを前面に出した講座運営が常識になっています。

実際、多くの受験生の方もこのような考えであり、当初から難関試験を前提に、長期計画で合格を目指しています。

では、本当に世間で言うほどの難関試験なのか。膨大な暗記が必要とされるのでしょうか。

率直な結論を言えば、“NO”です。社会保険労務士試験は、6カ月の勉強で十分合格が可能です。その根拠と勉強方法は、本書に書いてありますので、ぜひ読んでみてください。

本書を読んで、社会保険労務士を志すみなさんに、「社会保険労務士試験を頑張ってみよう！」と奮い立っていただければ、この本を書いた意味があるというものです。

忙しい時間を割いてお読みくださったみなさんが、社会保険労務士として活躍されることを期待してやみません。

平成14年9月

著者